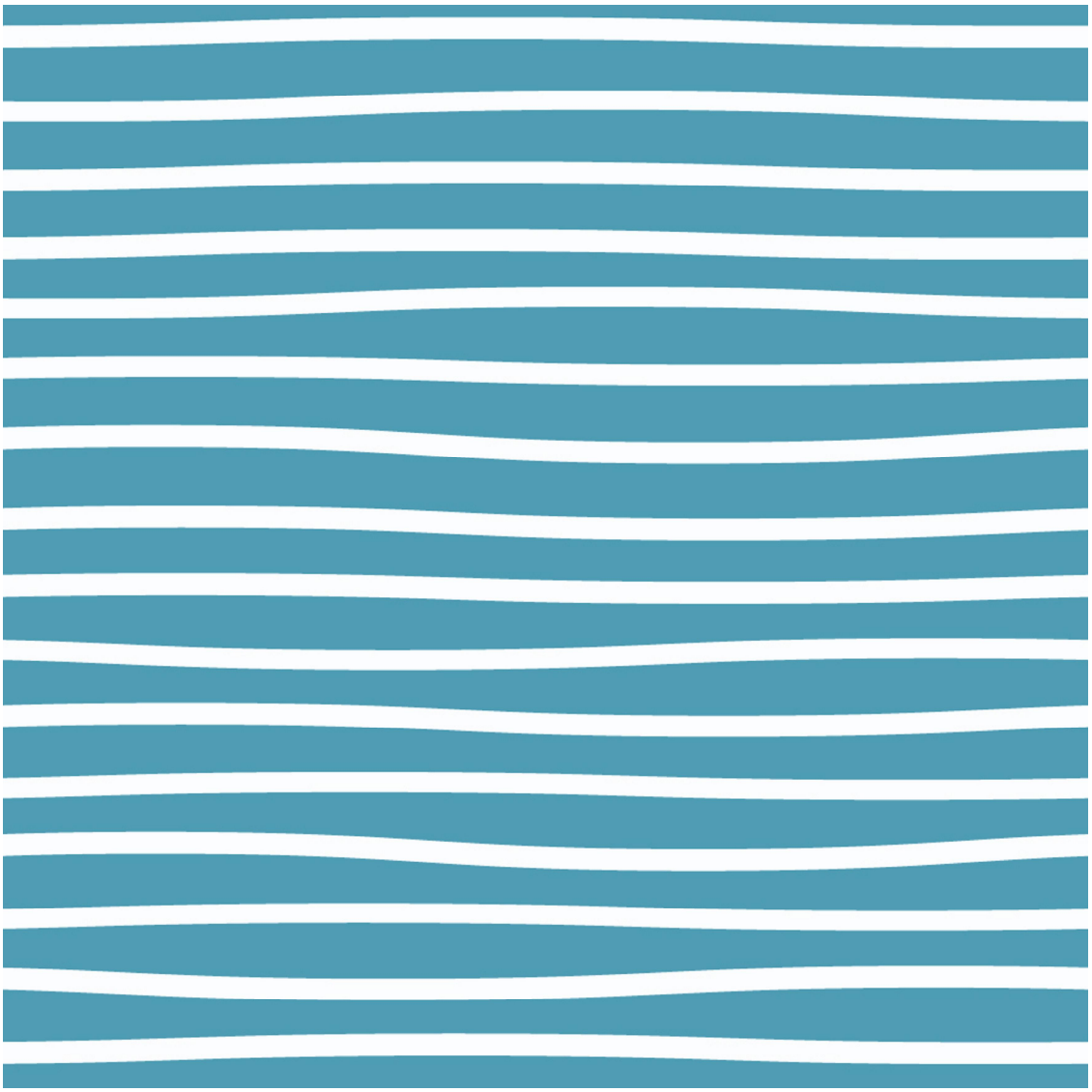
資料２

第２次西脇市環境基本計画（改定版）年次報告書
～令和７（2025）年度版～

森・水・人 未来織りなす
自立・循環のまち にしわき



令和８（2026）年10月
西 脇 市

目次

第１章　計画の基本的事項 1
１　計画の策定・見直しの背景 1
２　計画の位置付け 1
３　計画の期間 1
４　計画の推進主体と役割 1
５　計画の対象地域 2
６　計画の対象範囲 2
第２章　計画の進捗状況 3
基本目標１〈安全〉安全で健全かつ快適な環境のまちづくり 3
基本目標２〈資源循環〉環境への負荷が少ない循環型のまちづくり 6
基本目標３〈生物多様性〉 水、緑、生物等の多様な生態系を育むまちづくり 10
基本目標４〈気候変動〉 気候変動への適応及び脱炭素社会形成に貢献するまちづくり 12
基本目標５〈環境・経済好循環〉 環境を守り育てる仕組みを育むまちづくり 15
基本目標６〈人材育成〉 環境の保全と創造に貢献する担い手を育むまちづくり 17

第１章　計画の基本的事項

１　計画の策定・見直しの背景

西脇市環境基本計画は、「低炭素社会」、「循環型社会」、「自然共生社会」の実現を目標に、市の環境施策の指針として、平成23（2011）年度に策定し、令和３（2021）年３月に第２次計画(以下「本計画」という。）を策定しました。

令和７（2025）年度に計画策定から５年目を迎えたこと、併せて、近年、ＳＤＧｓなどの社会への浸透、地球温暖化に起因する気候変動の深刻化や国全体のカーボンニュートラルの推進、生物多様性の損失等に対して新たな目標設定があったことから、計画の中間見直しを行いました。

また、社会経済情勢等の変化に適切に対応するため、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）及び気候変動適応計画を本計画に包含する見直しを行いました。

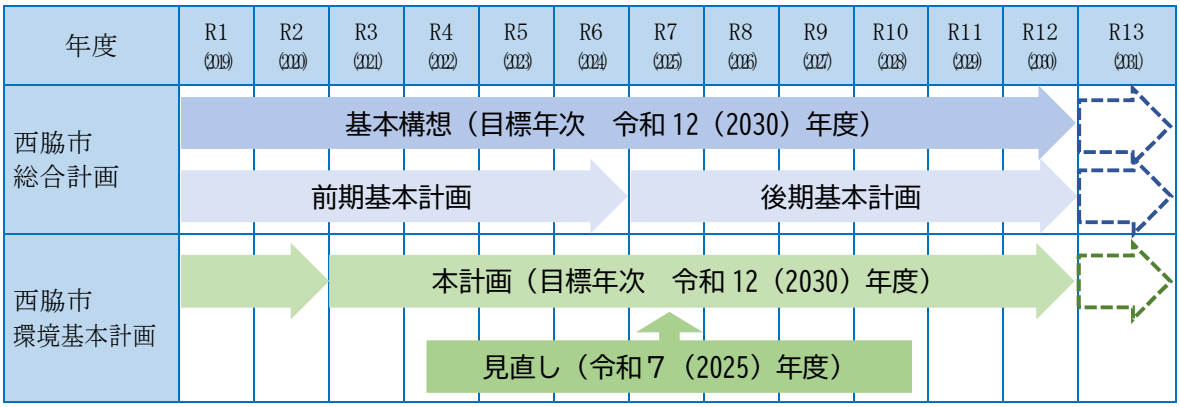
２　計画の位置付け

本計画は、西脇市の環境をまもる条例第28条の規定に基づき策定するものです。

また、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の規定に基づく「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」、気候変動適応法第12条の規定に基づく「地域気候変動適応計画」を包含した計画として位置付けます。

３　計画の期間

本計画の期間は、令和３（2021）年度から令和12（2030）年度までの10年間であり、中間年度である令和７（2025）年度に見直しを行いました。



４　計画の推進主体と役割

市民、事業者、市が自分ごととして、それぞれが計画の実現に取り組むことが重要です。

市民	定義	市内に居住する者、働く者、学ぶ者及び利害関係を有するもの
	役割	環境への負荷が少ない生活様式を積極的に取り入れる。　ほか
事業者	定義	市内で事業を営むもの
	役割	環境への負荷が少ない事業活動を積極的に推進する。　ほか
市	定義	市（必要に応じて、西脇多可行政事務組合等、市に関わる行政機関を含む。）
	役割	良好な環境の確保に関する施策を策定し、これを実施する。　ほか

5　計画の対象地域

本計画の対象とする地域は、市全域とします。ただし、市域を越えて広域的に取り組む必要があること（大気、水、森林をはじめ地球環境に関わる問題など）については、関係自治体、兵庫県及び国と連携して取り組んでいきます。

6　計画の対象範囲

本計画が対象とする範囲は、次のとおりです。

分野	環境要素	分野	環境要素
安全	大気、水質、騒音、振動、悪臭、交通、緑化、防災　ほか	気候変動	地球温暖化の防止、気候変動への適応、再生可能エネルギー、省エネルギー　ほか
資源循環	ごみの減量、資源の再使用・再生利用、廃棄物等の適正処分　ほか	環境・経済好循環	環境ビジネスの創出、雇用創出、地産地消、環境観光産業　ほか
生物多様性	動植物の生態系、農地、里山、森林、川、ため池　ほか	人材育成	環境教育・環境学習、環境保全活動　ほか

第２章　計画の進捗状況

基本目標１＜安全＞　安全で健全かつ快適な環境のまちづくり

１　目標値を設定する指標の進捗状況

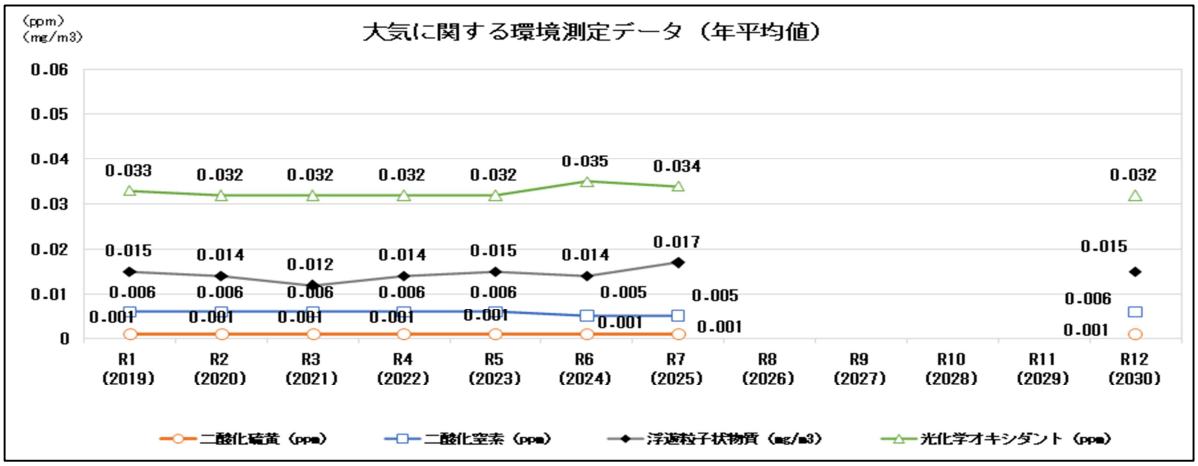
⑴　大気に関する環境測定データ（二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント）

二酸化硫黄、二酸化窒素は、令和元（2019）年度以降、環境基準以下となっています。令和７（2025）年度は前年度と比較し、浮遊粒子状物質が0.003mg/㎥増加し、光化学オキシダントが0.001ppm減少しました。

大気に関する環境測定データ（年平均値）

（単位）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
二酸化硫黄（ppm）	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
二酸化窒素（ppm）	0.006	0.006	0.006	0.005	0.005	0.006
浮遊粒子状物質（mg/m3）	0.012	0.014	0.015	0.014	0.017	0.015
光化学オキシダント（ppm）	0.032	0.032	0.032	0.035	0.034	0.032

出典：兵庫県一般環境大気想定局データ（兵庫県環境白書）



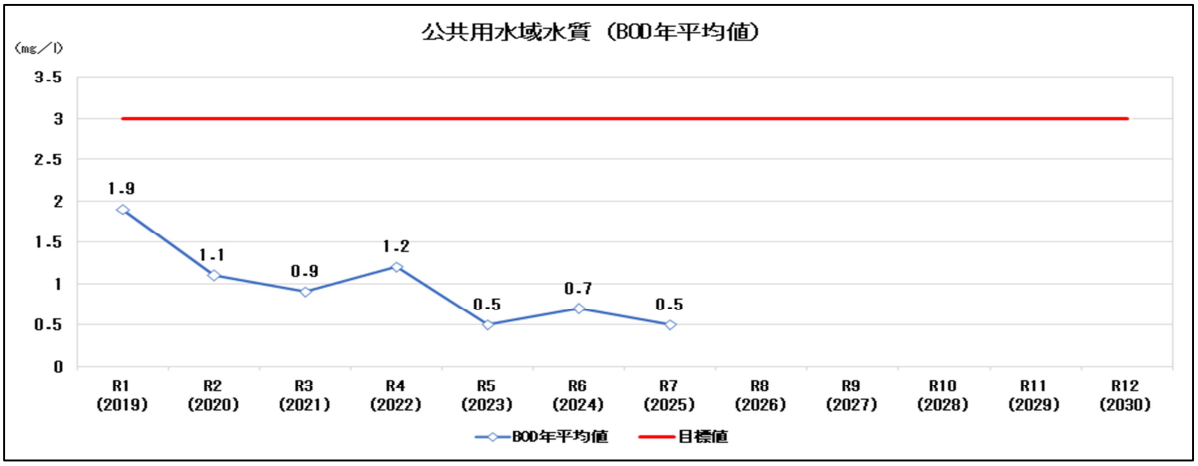
⑵　公共用水域水質（ＢＯＤ年平均値）

公共用水域水質（ＢＯＤ年平均値）については、令和元（2019）年度以降、環境基準未満となっています。

公共用水域水質

（単位）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
BOD年平均値（mg/l）	0.9	1.2	0.5	0.7	0.5	3

出典：市防災環境課



2　経年変化を把握する指標の進捗状況

⑴　分野別苦情件数（騒音・振動・悪臭、不法投棄、野外焼却等）

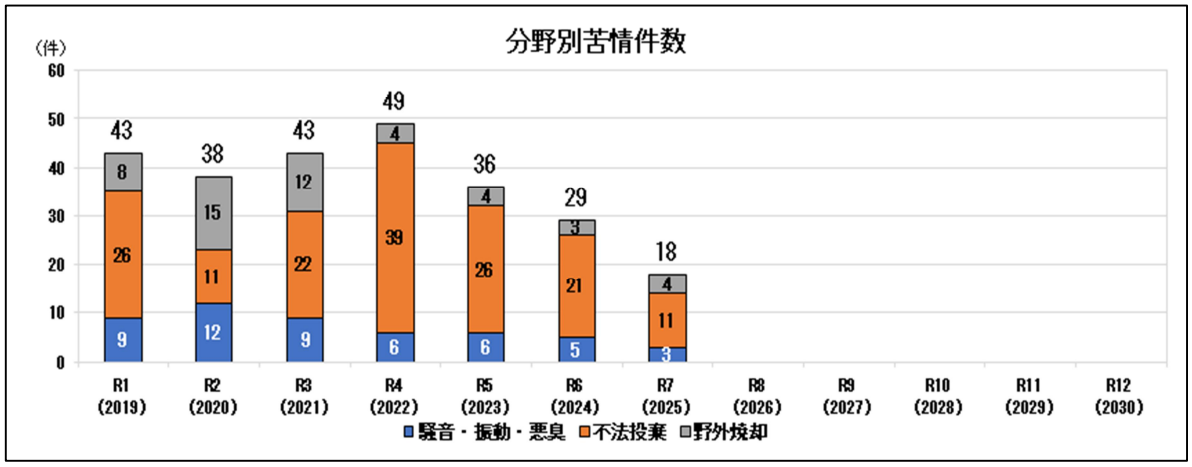
件数全体としては、年度により増減はありますが、令和７（2025）年度は前年度と比較し、11件減少しました。

分野別では、令和７（2025）年度は前年度と比較し、騒音・振動・悪臭は、２件減少し、不法投棄は、10件減少し、野外焼却は、１件増加しました。

分野別苦情件数

（単位）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
騒音・振動・悪臭（件）	9	6	6	5	3
不法投棄（件）	22	39	26	21	11
野外焼却（件）	12	4	4	3	4
合　計（件）	43	49	36	29	18

出典：市防災環境課



3　施策の取組状況

⑴　化学物質対策や新たな環境リスク対策の実施

・　有機フッ素化合物（ PFHxS）についても検出状況を確認するため、市内４か所の浄水場から配水されている給水栓で水質検査を実施しました。

⑵　より良い地域環境形成のための取組の実施

・　市内全ての農業集落排水処理区域の公共下水道への接続が完了し、施設の効率化を進め、環境負荷の低減に取り組みました。また、水洗化を促進し、生活環境の向上に努めました。
・　ＪＲ加古川線との接続に配慮したコミュニティバスのダイヤ改正を行い、利用促進を図りました。

基本目標２＜資源循環＞　環境への負荷が少ない循環型のまちづくり

１　目標値を設定する指標の進捗状況

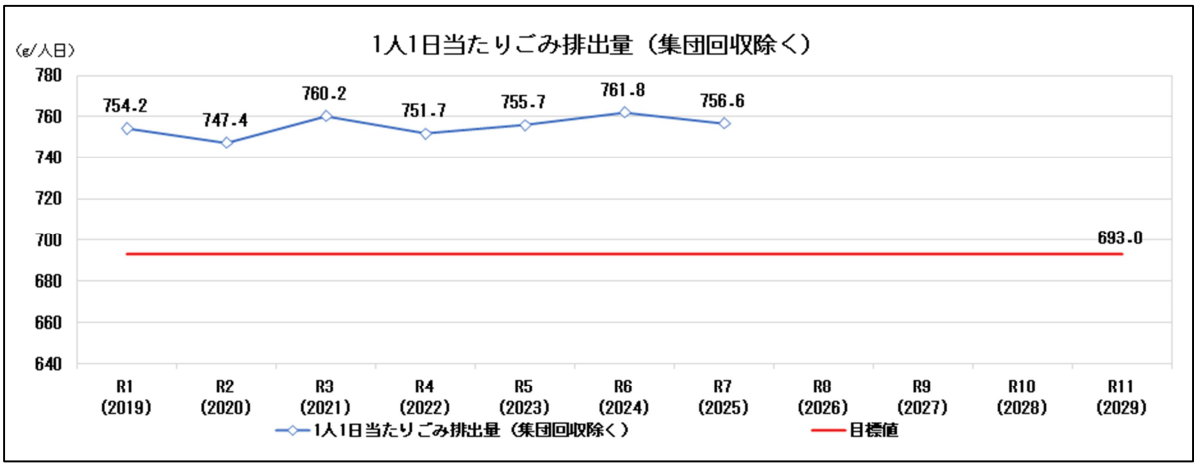
⑴　１人１日当たりごみ排出量（集団回収除く）

令和７（2025）年度は前年度と比較し、 5.2g/人日減少しました。

1人1日当たりごみ排出量（集団回収除く）

（単位）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
1人1日当たりごみ排出量（集団回収除く）（g/人日）	760.2	751.7	755.7	761.8	756.6	693.0

出典：環境省一般廃棄物処理実態調査結果



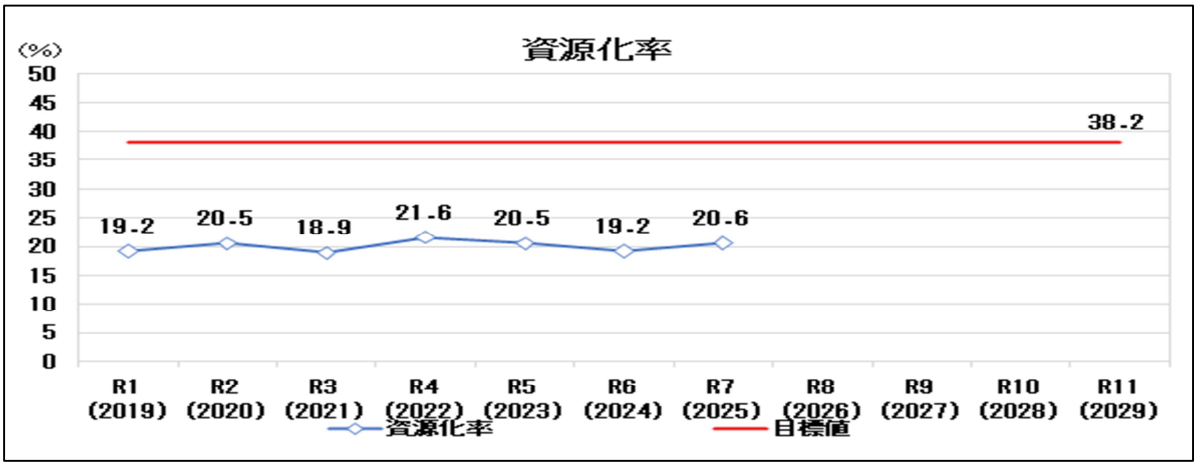
⑵　資源化率

令和７（2025）年度は前年度と比較し、 1.4ポイント増加しました。

資源化率

（単位）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
資源化率（%）	18.9	21.6	20.5	19.2	20.6	38.2

出典：みどり園資料及び兵庫県環境整備課資料



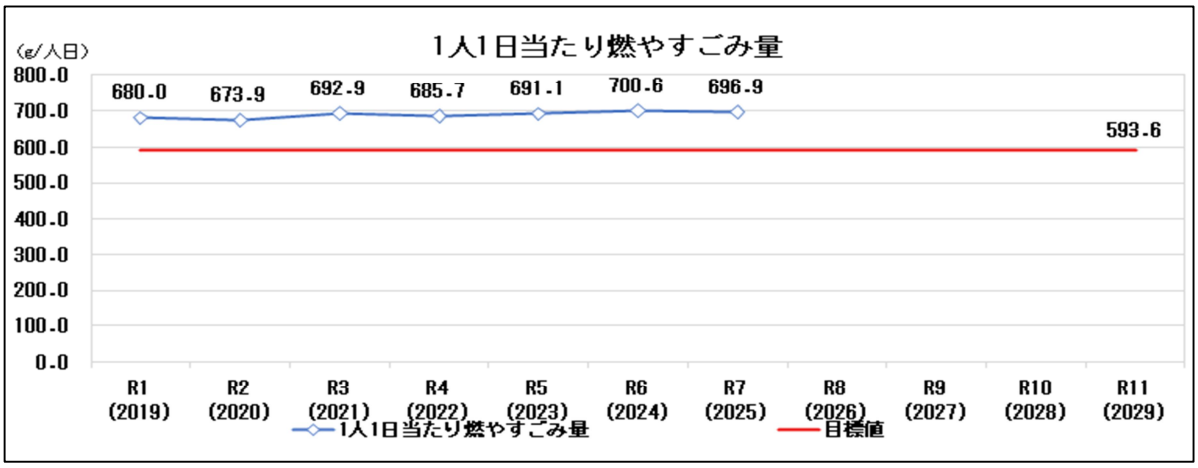
⑶　１人１日当たり燃やすごみ量

令和７（2025）年度は前年度と比較し、 3.7g/人日減少しました。

1人1日当たり燃やすごみ量

（単位）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
1人1日当たり燃やすごみ量(g/人日)	692.9	685.7	691.1	700.6	696.9	593.6

出典：みどり園資料及び兵庫県環境整備課資料



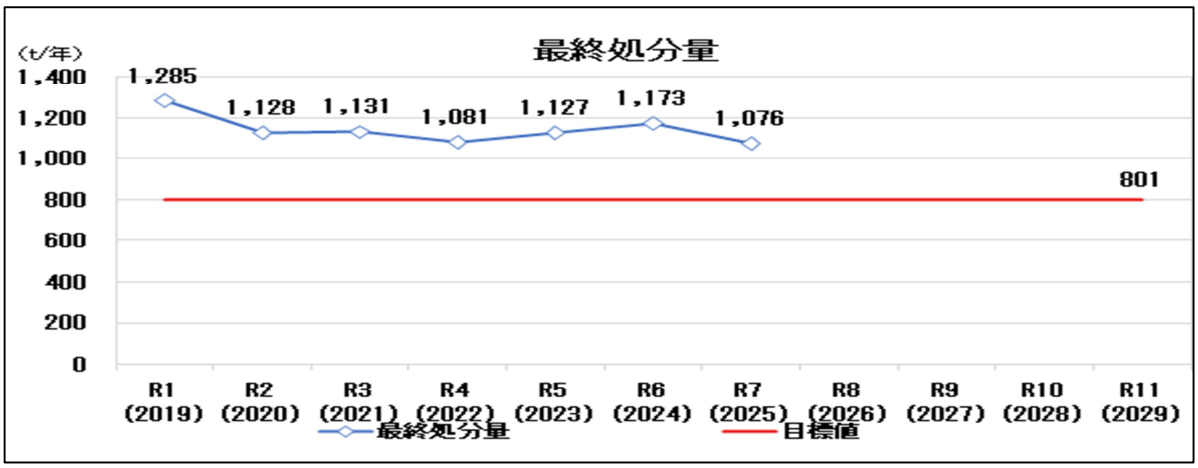
⑷　最終処分量

令和２（2020）年度以降 1,100ｔ前後で横ばいに推移しています。

最終処分量

（単位）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
最終処分量（t/年）	1,131	1,081	1,127	1,173	1,076	801

出典：みどり園資料及び兵庫県環境整備課資料



2　経年変化を把握する指標の進捗状況

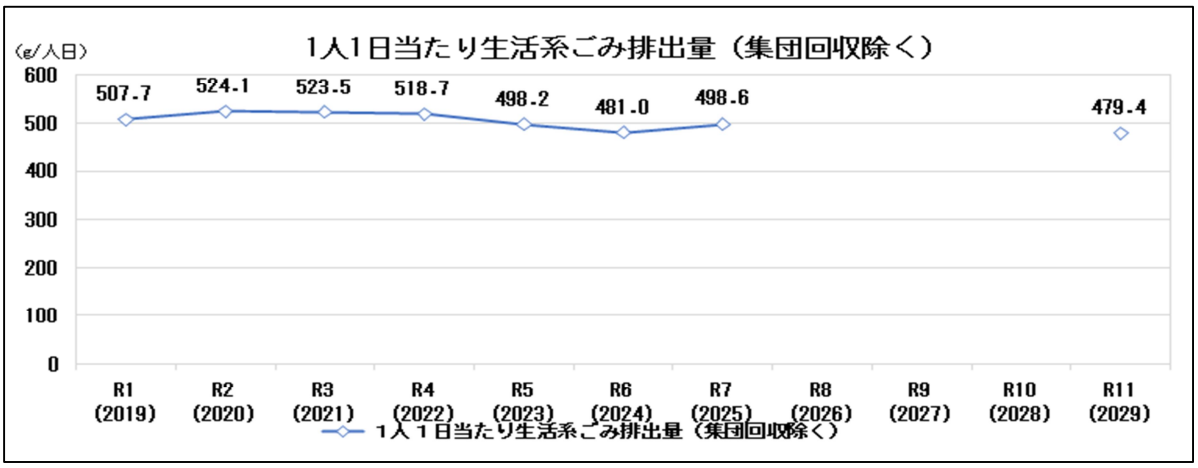
⑴　１人１日当たり生活系ごみ排出量（集団回収除く）

令和７（2025）年度は前年度と比較し、17.6g/人日増加しました。

1人1日当たり生活系ごみ排出量（集団回収除く）

（単位）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
生活系ごみ排出量(集団回収除く)（g/人日）	523.5	518.7	498.2	481.0	498.6	479.4

出典：みどり園資料及び兵庫県環境整備課資料



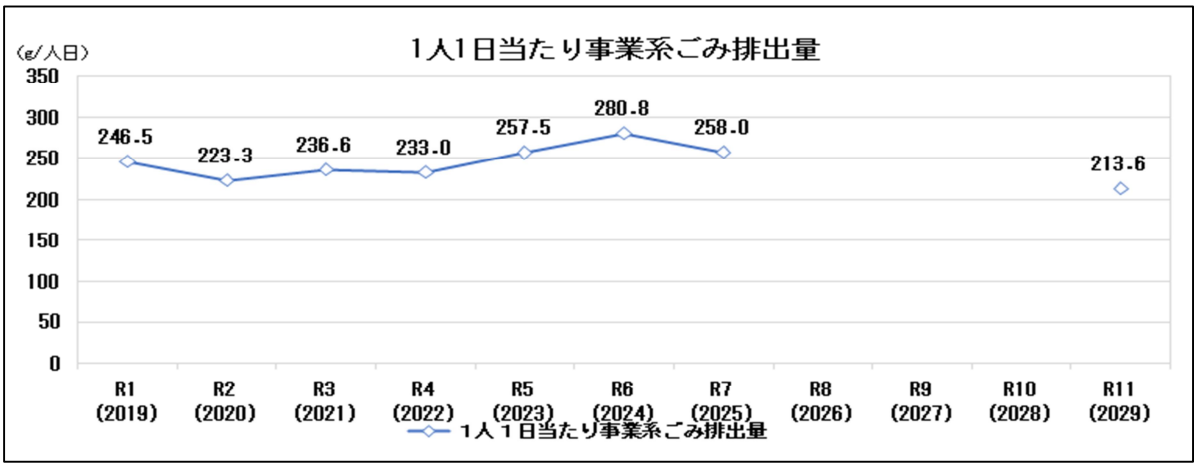
⑵　１人１日当たり事業系ごみ排出量

令和７（2025）年度は前年度と比較し、22.8g/人日減少しました。

1人1日当たり事業系ごみ排出量

（単位）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
1人1日当たり事業系ごみ排出量（g/人日）	236.6	233.0	257.5	280.8	258.0	213.6

出典：みどり園資料及び兵庫県環境整備課資料



3　施策の取組状況

⑴　再使用の推進（リユース）

・　みどり園のリサイクルプラザにおける「再生処理ルーム（再生修理・販売）」、「Ｒショップ（リユース品等の販売）」等の取組について事業の継続と周知を行いました。

⑵　資源化の推進（リサイクル）

・　資源ごみの集団回収に関しては、人口減少、高齢化等により活動存続が困難になりつつある現状を踏まえ、今後も活動が継続できるように制度の改正を行いました。

⑶　ごみ収集・処理体制の充実

・　高齢者や障害のある方のごみ出し支援を行いました。

⑷　新たなごみ処理施設の整備

・　西脇多可行政事務組合が整備する新ごみ処理施設は令和８年６月から稼働しました。

・　新ごみ処理施設は、適正な処理を行うことで、ごみ処理の過程を資源循環と捉え環境負荷を低減した施設として整備・運用しました。

基本目標３＜生物多様性＞　水、緑、生物等の多様な生態系を育むまちづくり

１　目標値を設定する指標の進捗状況

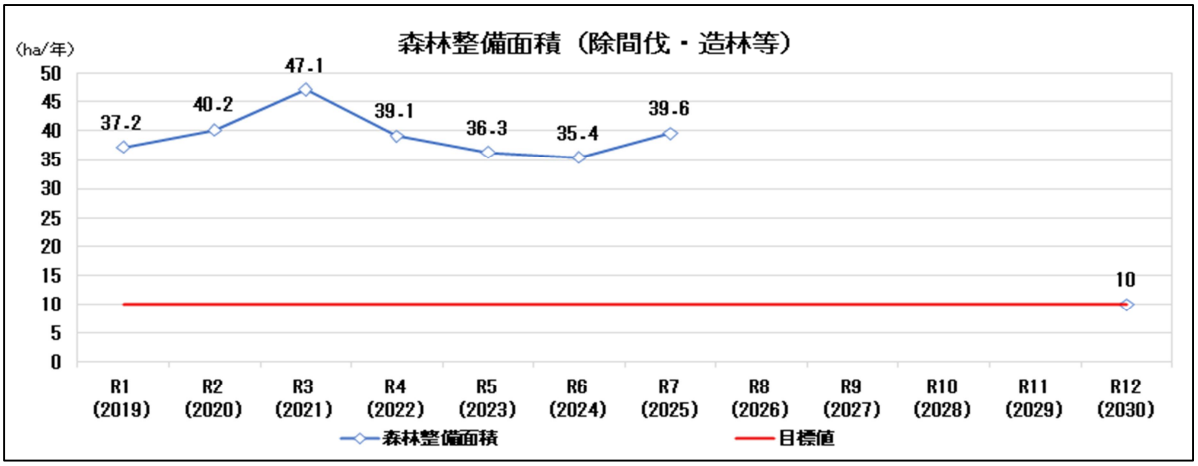
⑴　森林整備面積（除間伐・造林等）

令和元（2019）年度以降、目標値を達成しています。

森林整備面積（除間伐・造林等）

（単位）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
森林整備面積（ha/年）	47.1	39.1	36.3	35.4	39.6	10

出典：市農林振興課



２　経年変化を把握する指標の進捗状況

⑴　貴重な自然環境の選定数（兵庫県レッドリストによる植物群落／単一群落、重要な生態系、自然景観）

令和７（2025）年度は令和元（2019）年度と比較し、増減はありませんでした。

貴重な自然環境の選定数

	R1年度	R7年度
植物群落・単一群落	５件	５件
生態系	該当なし	該当なし
自然景観	４件	４件

出典：兵庫県版レッドリスト

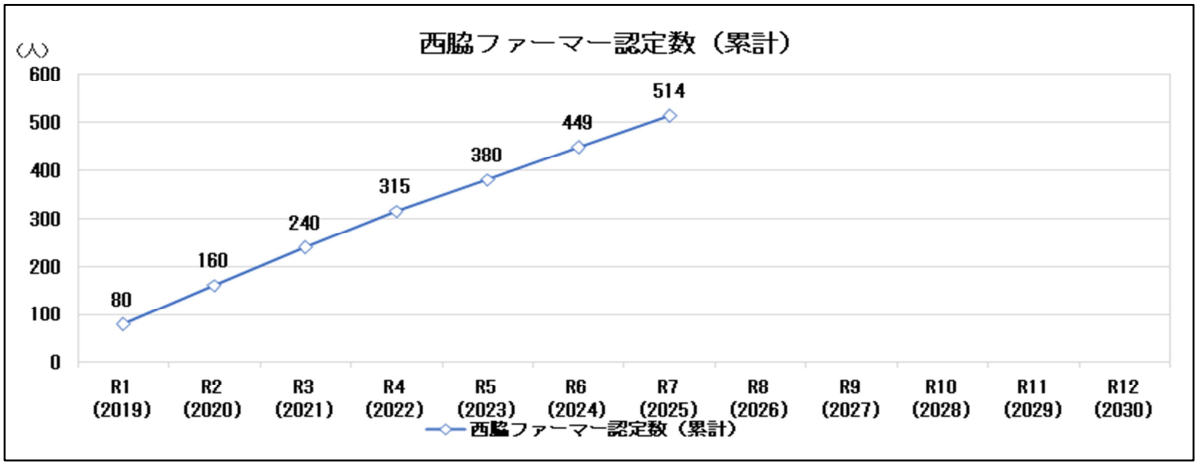
⑵　西脇ファーマー認定数（累計）

令和７（2025）年度は前年度と比較し、65人増加しました。

西脇ファーマー認定数（累計）

（単位）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
西脇ファーマー認定数(累計)(人)	240	315	380	449	514

出典：市農林振興課

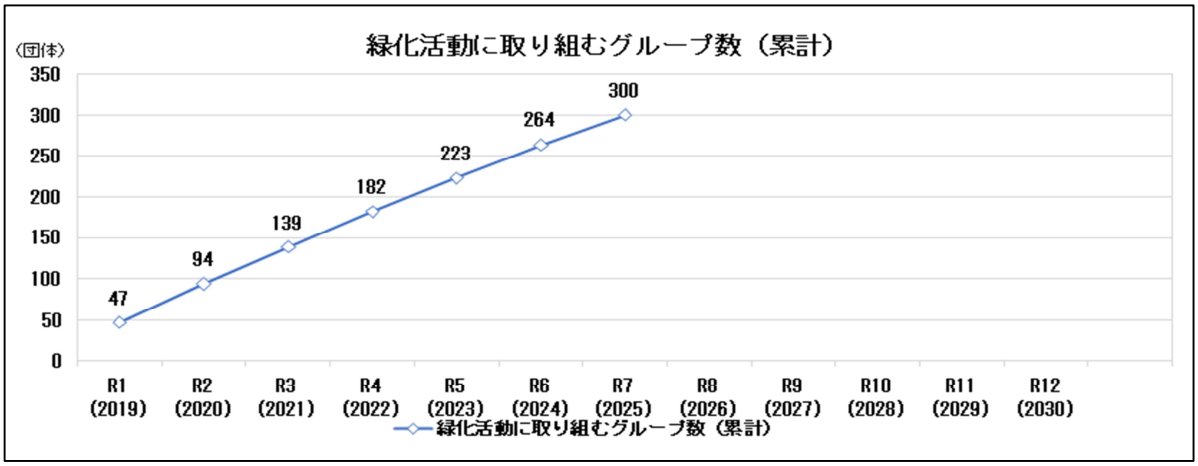


⑶　緑化活動に取り組むグループ数（累計）
令和７（2025）年度は前年度と比較し、36団体増加しました。

緑化活動に取り組むグループ数（累計）

（単位）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
緑化活動に取り組むグループ数（累計）（団体）	139	182	223	264	300

出典：市防災環境課



３　施策の取組状況

⑴　田園地域・里山の保全と活用

・　化学肥料や農薬の減量化に取り組む農家に「西脇ファーマー」の認証を実施しました。

⑵　森林の保全と活用

・　市内森林の間伐を補助し、適正な維持管理を推進しました。
・　公共施設の老朽化した設備を更新しました。
・　地元産木材を活用した木製額縁を作成し、主に企業版ふるさと納税の感謝状贈呈に使用しました。

基本目標４＜気候変動＞気候変動への適応及び脱炭素社会形成に貢献するまちづくり

１　目標値を設定する指標の進捗状況

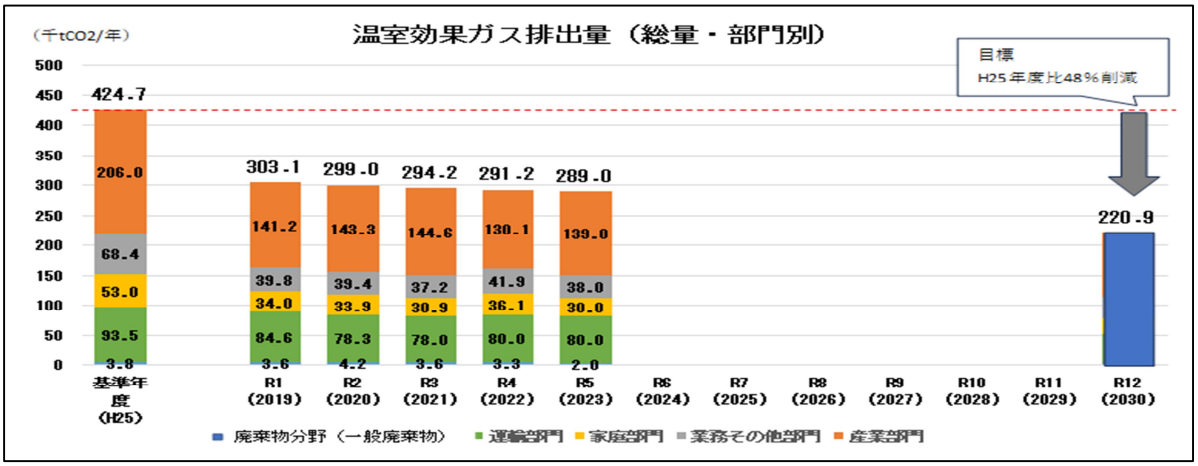
⑴　温室効果ガス排出量（総量・部門別）

総量としては、令和５（2023）年度は前年度と比較し、 2.2ポイント減少しました。分野別では、令和５（2023）年度は前年度と比較し、廃棄物分野（一般廃棄物）は、 1.3ポイント減少し、運輸部門は、増減はなく、家庭部門は、 6.1ポイント減少し、業務その他部門は、 3.9ポイント減少し、産業部門は、 8.9ポイント増加しました。

温室効果ガス排出量（総量・部門別）

（単位）	H25年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	目標値
総量（千t-CO2）	424.7	303.1	299.0	294.2	291.2	289.0	220.9
廃棄物分野（一般廃棄物）（千t-CO2）	3.8	3.6	4.2	3.6	3.3	2.0	2.0
運輸部門（千t-CO2）	93.5	84.6	78.3	78.0	80.0	80.0	48.6
家庭部門（千t-CO2）	53.0	34.0	33.9	30.9	36.1	30.0	27.6
業務その他部門（千t-CO2）	68.4	39.8	39.4	37.2	41.9	38.0	35.6
産業部門（千t-CO2）	206.0	141.2	143.3	144.6	130.1	139.0	107.1

出典：環境省自治体排出量カルテ



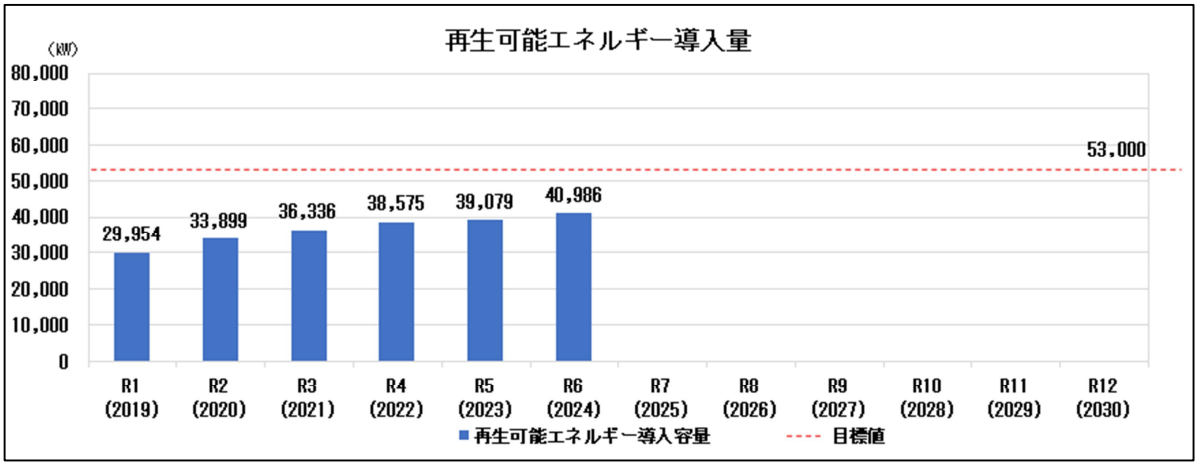
⑵　再生可能エネルギー導入量

令和６（2024）年度は前年度と比較し、 1,907kW増加しました。

再生可能エネルギー導入量

（単位）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標値
再生可能エネルギー導入量(kW)	33,899	36,336	38,575	39,079	40,986	53,000

出典：環境省自治体排出量カルテ



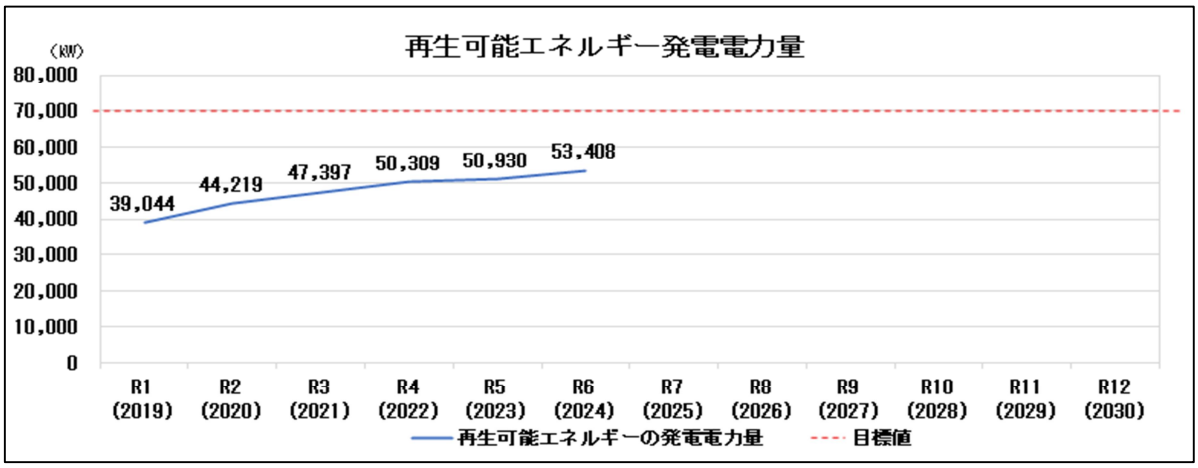
⑶　再生可能エネルギー発電電力量

令和６（2024）年度は前年度と比較し、2,478MWh増加しました。

再生可能エネルギー発電電力量

（単位）	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標値
再生可能エネルギー発電電力量（MWh）	44,219	47,397	50,309	50,930	53,408	70,000

出典：環境省自治体排出量カルテ



２　施策の取組状況

⑴　再生可能エネルギー設備の導入促進

・　屋根（ソーラーカーポートを含む）・屋上設置型太陽光発電設備や蓄電設備の導入に係る情報提供を行い、住宅や事業所への再生可能エネルギー導入を促進し、脱炭素の実現と防災力強化（災害時の電源確保）を推進しました。

・　兵庫県と連携して太陽光発電設備共同調達などの事業を実施し、事業所・住宅への設備導入を推進しました。

⑵　コンパクト・プラス・ネットワークと脱炭素の推進

⑶　公共交通サービスの利便性の向上

・　乗合タクシー「むすブン」の車両６台を更新するに当たり、全てにハイブリッド車を導入し、一部に福祉車両を導入することで脱炭素の推進と利便性の

向上を図りました。

⑷　自然災害

・　防災マップを配布したほか、ウェブ版防災マップを更新しました。

・　防災無線やホームページ等を通し、市民に必要な気象や避難情報を提供しました。

・　試行的に、指定したペット避難所にペット用の備蓄品を整備しました。

・　各町の防災訓練を支援し、年間47回の訓練を実施しました。地域住民が主体となって防災について考え、行動する体制づくりを進めたことで、地域全体の防災意識の向上が図られました。

⑸　健康

・　指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）を４件指定しました。

⑹　産業・経済活動

・　ウェブ版防災マップを公開し、災害時や緊急時の旅行者向けの適切な観光地情報や交通アクセスの情報を発信しました。

⑺　都市環境・市民生活

・　避難所等での使用を想定し、非常用の発電機と燃料を整備しました。

・　給水袋の在庫状況を把握しました。また、緊急対応に備えて、加圧給水車の操作方法を関係職員へ説明し、操作実習を実施しました。

・　避難所となる中学校にスポットクーラー22台を設置しました。

・　複数の市町、機関と相互応援協定を締結し、広域的な相互応援体制を確保しました。

基本目標５＜環境・経済好循環＞　環境を守り育てる仕組みを育むまちづくり

１　経年変化を把握する指標の進捗状況

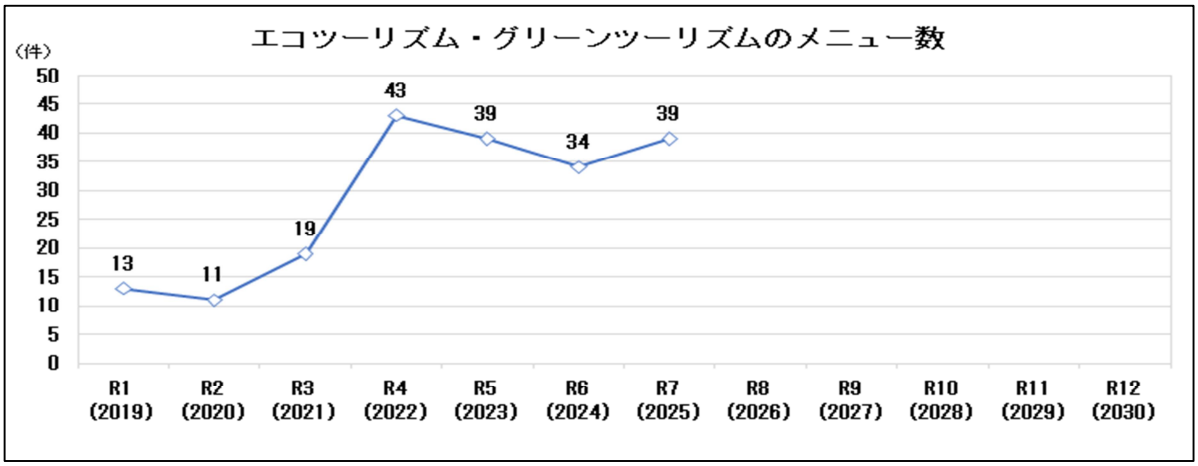
⑴　エコツーリズム・グリーンツーリズムのメニュー数

令和７（2025）年度は前年度と比較し、５件増加しました。

エコツーリズム・グリーンツーリズムのメニュー数

（単位）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
エコツーリズム・グリーンツーリズムのメニュー数　（件）	19	43	39	34	39

出典：市商工観光課



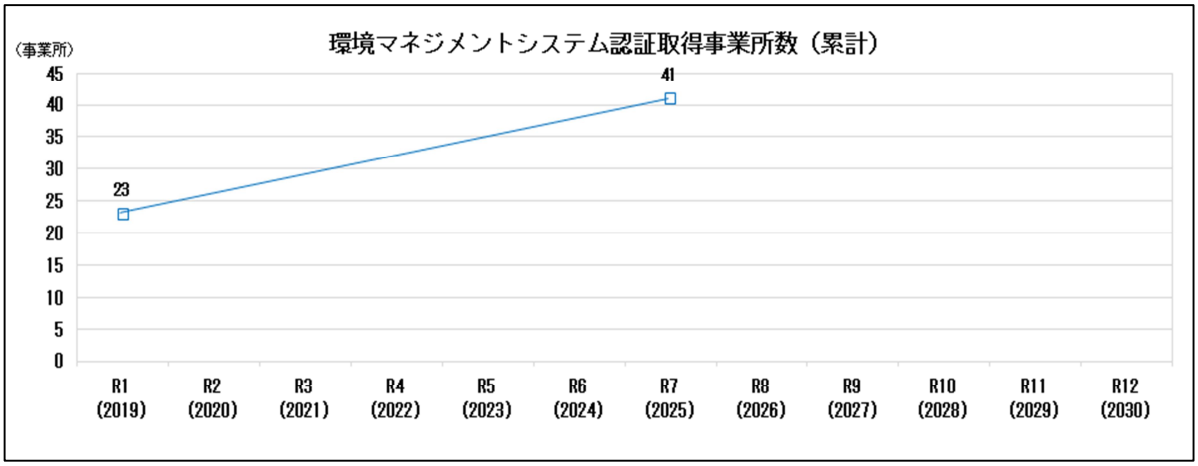
⑵　環境マネジメントシステム認証取得事業所数（累計）

令和７（2025）年度は令和元（2019）年度と比較し、18件増加しました。

環境マネジメントシステム認証取得事業所数（累計）

（単位）	R1年度	R7年度
環境マネジメントシステム認証取得事業所数（累計）　（事業所）	23	41

出典：市防災環境課



2　施策の取組状況

⑴　環境と農商工の連携

・　西脇市土づくりセンター「ゆめあぐり西脇」の見学会を実施しました。

⑵　地域資源を生かした産業の創出

・　特定非営利活動法人北はりま田園空間博物館や市観光物産協会等の観光交流事業を通じて、年間30～40回のツアーメニューを提供、市内外問わず参加があり、体験活動を行いました。

・　市内の２つの企業を指定企業に認定し、事業拡大に向けた支援を実施しました。

基本目標６＜人材育成＞環境の保全と創造に貢献する担い手を育むまちづくり

１　目標値を設定する指標の進捗状況

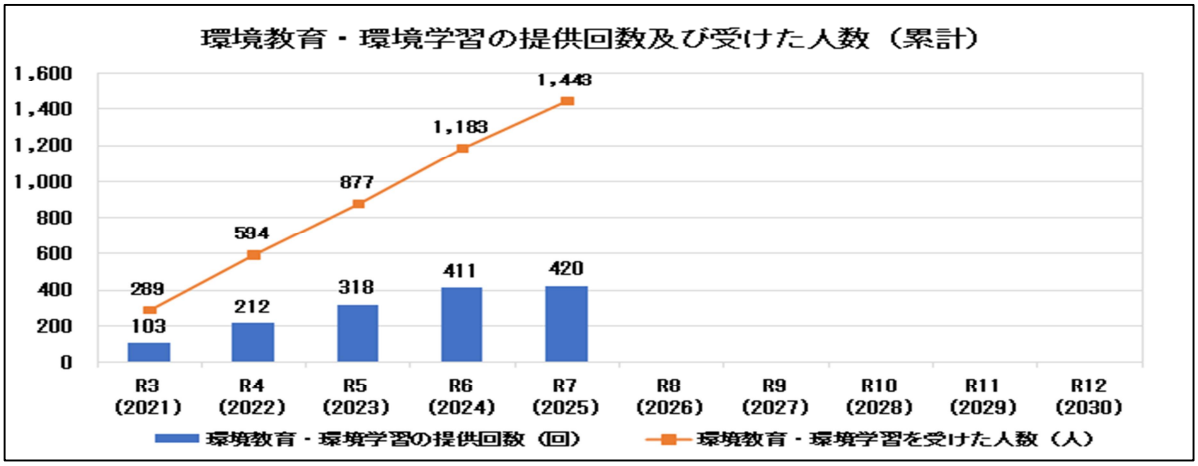
⑴　環境教育・環境学習の提供回数及び受けた人数（累計）

令和７（2025）年度は前年度と比較し、提供回数は、９回増加し、受けた人数は、 260人増加しました。

環境教育・環境学習の提供回数及び受けた人数（累計）

（単位）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
環境教育・環境学習の提供回数（累計）　（回）	103	212	318	411	420	前年度より増加
環境教育・環境学習を受けた人数（累計）　（人）	289	594	877	1,183	1,443	前年度より増加

出典：市教育委員会



２　施策の実施状況

⑴　地域環境への関心の醸成（環境教育・環境学習／郷土教育の推進）

・　西脇市いずみ会との連携により、北播磨圏域で出荷された農作物を北はりま旬菜館から調達し、それらを使用した調理実習を年間14回行いました。

・　芳田こども園４歳児に、日本では一人当たり毎日茶碗１杯分の食べ物が廃棄されていること、旬の食材は栄養価がもっとも豊富であること等の内容を伝えるエプロンシアターを実施しました。